

平成19年11月3日、仙台市在住の作家、佐伯一麦さんをお迎え、「私の小さな本棚～心に記した読書ノート」と題して講演会を開催しました。佐伯さんが考える読書の楽しみ方や読書歴などのお話を伺いました。

■ 作家を志すまでの読書体験

子どもの頃は科学者を志していて、読書の中心も科学分野の本でしたが、野間宏、武田泰淳や椎名麟三といった、日本の戦後文学者の作品と出会って、文学に興味をもつようになりました。高校2年生の時には、二十数年ぶりに発表された植谷雄高『死霊』の第5章に触発されて、小説を書くことを志すようになります。小説を書くにあたって、また読書の対象としても、私小説というスタイルを遠ざけていましたが、中上健治『十九歳の地図』に出会うことで、人生というものを描く小説を書きたいと思えるようになりました。

週刊誌記者、本屋の店員、電気工を経ながら小説を書き続け、25歳の時、『木を接ぐ』で海燕新人文学賞を受賞しました。

■ 読書の楽しみ方

読書の楽しみ方はいろいろあって、正しい読み方、間違った読み方というものはないのだと思っています。私の場合は、一度本の内容を把握した後は、

自分の中の読書の「地図」を頼りに、部分的に反芻したり思い出ししたり、つまみ読みをするという読み方が多いようです。

先日モンゴルを訪れましたが、そこで見た天の川の美しさに、川端康成『雪国』の情景描写の的確さを再認識しました。同じことを経験しても、読書の記憶は日常をより豊かにしてくれるものだと感じています。

「作家の講演会など、小説に作家の肉声が加わった、直接的な出会いもまた、文学の一つの要素ではないか」という佐伯さんの言葉通り、参加者にとって、佐伯さんの作品世界に対する関心とともに、読書そのもののいろいろな楽しみ方を教えてもらった講演会となりました。



図書館からのお知らせ



INFORMATION

■ 図書館システムの入れ替えのため臨時休館します。

貸出や返却など、図書館資料の情報を管理するシステム機器の入れ替え作業のため、下記の期間は休館します。利用者の皆様にはご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

● 期間 平成20年1月25日(金)から2月7日(木)まで

■ 特別展 視聴覚資料のあゆみ

「県図書館と視聴覚資料」を開催中です。

ナトコ映写機およびCIE図書館(連合軍総司令部民間情報局図書館)に関する資料の展示のほか、宮城県図書館「音と映像のフロア」の移り変わり、また県内視聴覚センターとしての役割についてご紹介します。

● 期間 平成19年12月8日(土)から平成20年3月2日(日)
(図書館開館日の午前9時30分から午後5時まで)

- 場 所 展示室(2階) ● 入場は無料です
- 問い合わせ 利用サービス班(1階) 電話 022-377-8446

■ 企画展 「みやぎの児童文学」を開催します。

宮城県の観光地や伝統行事などを題材とした、絵本や児童書を展示します。小さな子ども向けにわかりやすく丁寧に、また挿絵を用いながら描かれるみやぎの姿をご紹介します。

- 期間 平成20年1月12日(土)から平成20年3月2日(日)
(図書館開館日の午前9時30分から午後5時まで)
- 場 所 展示室(2階) ● 入場は無料です
- 問い合わせ 利用サービス班(2階) 電話 022-377-8447

表紙エッセイ／佐藤賢一さん



さとう・けんいち 作家。山形県鶴岡市出身。山形県立鶴岡南高等学校、山形大学教育学部卒、東北大学大学院文学研究科単位取得退学。西洋史学専攻。在学中の1993年、『ジャガーになった男』で第6回小説すばる新人賞を受賞。1999年、『王妃の離婚』で第121回直木賞を受賞。

ことばのうみ

題字 作家・高田 宏氏

本誌タイトル「ことばのうみ」は、本館第8代館長・大槻文彦編著による日本最初の近代的国語辞典『言海(げんかい)』(1889～1891年刊行)に由来する。

第26号 2007年12月発行

編集・発行

宮城県図書館

〒981-3205
仙台市泉区紫山一丁目1番地1
TEL022-377-8441 (代表)
FAX022-377-8484
ホームページ
<http://www.pref.miyagi.jp/library/>

生涯学習機関として、広く大学教育の機会を提供します。

広告

放送大学はテレビやラジオの放送を利用して授業を行う通信制の大学です。入学に必要な資格は学ぶ意欲。15歳以上の方なら、どなたでも入学できます。また、18歳以上の大学入学資格をお持ちの方なら全科履修生として入学でき、4年以上在学して124単位以上修得して卒業すると、学士(教養)の学位を取得できます。

働きながらの大学卒業やキャリアアップ、生涯学習など、様々な目的で幅広い世代、職業の方が学んでいます。心理学・福祉・経済・歴史・文学・自然科学など、幅広い分野を1科目から学べます。さらに専門的に学びたい方は、大学院も併設しております。

入学する機会は年2回。4月と10月です。詳しくはお気軽にお問い合わせください。

放送大学は放送大学学園(文部科学省・総務省所管)によって設置された正規の大学です。

放送大学
The Open University of Japan

〈お問い合わせは〉宮城学習センター

〒980-8577 仙台市青葉区片平2-1-1 (東北大学片平地区内)
<http://www.u-air.ac.jp> TEL022-224-0651



宮城学習センターの赤レンガの建物は、大正12年に開設された東北帝国大学理学部生物学教室の施設として建てられたもので、当時の仙台ではまだ珍しい鉄筋コンクリート構造の建物でした。

デザイン/印刷 仙台共同印刷